



クラシノソコアゲ応援団!RENGOキャンペーン

全道キャラバン通信

No.66 2018. 6. 5 発行責任者 連合北海道組織労働局

地域の声と行動、国会闘争の両輪で、働く者のための働き方改革を実現させよう!

全道キャラバンは5月30日～31日宗谷管内、6月1日～2日は留萌地協管内で行動を展開し、地域から高度プロフェッショナル制度(高プロ)反対の声を上げた。

また、働き方改革関連法案の審議が始まった参議院では、4日の本会議で「働き方改革関連法案」の趣旨説明と質疑が行われ、国民民主党の小林正夫議員と立憲民主党の石橋通宏議員が質問に立った。

地域の声と行動、国会闘争の両輪で働く者のための働き方改革を実現させよう。

宗谷地協

30日に網走地協からキャラバンカーを引き継いだ宗谷地協では31日に稚内市で宗谷地区集会を開催し、各産別・単組、地区連合から約60人が参加した。宮森会長は、「働き方改革関連法案が高プロ制度を含んだ形で衆議院本会議を本日通過したことは、多くの勤労国民や過労死遺族の声を無視するもので到底容認できない。今後、審議の場は参議院に移るが、引き続き地域の中での皆さんの協力を得ながら取り組んでいきたい」と決意を述べた。その後の基調提起で裁量労働制と高プロの内容と問題点について確認し、参加者全員での意思統一を図り、集会アピールを採択した。



引き続き地域で取り組もうと決意を述べた宮森会長

留萌地協

管内全町村で街頭行動を展開した留萌地協では6月1日、留萌市役所前で留萌地区街頭集会を開催し、約100名の組合員が参加。主催者挨拶に立った留萌地協の村上会長は「高プロはどんな業種が該当するか議論されていないし、使用者側が勤務時間を定めても差し支えない」と問題点を指摘。「立憲民主党や国民民主党をはじめとする野党の連携した取り組みがカギとなる」と強調した。野呂事務局長が情勢報告した後、働き方改革関連法案が5月31日に衆議院本会議で可決されたことに反対する集会アピールを確認し、最後に「団結ガンバロー」の声を上げた。



参議院で審議入り

4日の参議院本会議で質問に立った国民民主党の小林正夫議員

と立憲民主党の石橋通宏議員の質問内容は次の通り。(連合本部「2018働き方改革関連ニュース28号」より転載)

小林議員は、時間外労働の上限規制に関し、中小企業を含めて速やかな実現が必要であることを述べた。

また、石橋議員は、「衆議院で法案が強行採決された」として満身の怒りを述べた上で、高度プロフェッショナル制度に関して、「成果で評価することは現行法の下でもできないのか。『時間ではなく、成果で評価する』というが、『成果』やその基準は誰が決めるのか」と安倍総理に強く迫り、制度創設の撤回を求めた。

全道キャラバン「到着街頭集会」

日時 6月8日(金)12:15～12:45

場所 札幌紀伊國屋書店前(中央区北5西5)